

宮岡「ダイバーシティとバリアフリーを目指して」への質問・コメントと回答	
講義内容について	
質問	明治―大正時代、大学進学者は3%以下ということですが、その理由はこういったものだったのでしょうか。経済力なども関係していたのでしょうか。また「旧制高校では哲学を論じ、教養を身につけた」ということですが、哲学のどんな内容、どんな側面が教養へとつながっていくのでしょうか。
回答	1941年まで、義務教育は尋常小学校のみで、大学進学者はほんの一握り。旧制高校は全寮制で互いに与える影響は大きく、デカルト、カント、ショーペンハウエルに代表される「デカンショ」哲学を読み、論じて教養を身につけたとか。
コメント	今と昔では大学のとらえ方が違うと知りました。専門と教養の幅広い知識は不可欠であると私も思います。しかし、自分の得意なことばかりを貫くのであれば視野は広がらないとも思います。得手不得手に関わらず様々なことに取り組む姿勢も教養の一部だと私は考えます。
回答	このセミナーに参加してくださった意義がありましたね。
F	「かつての大学」は国家に尽くすためのエリートを養成するため、という文脈があったと思うのですが（明治―大正など）、最近では国家・政府のやり方に異を唱える者＝知識人を減らして自分たちのやりたいようにしたいということを知ったことがあるのですがどう思われますか。（「国家のための大学」は仕方がないのでしょうか…）
回答	これは会場で既に答えましたので本文をごらんください。1957年ころ普及したテレビで「一億総白痴化」という危惧も生まれましたが、人間そこまでバカではありません。
F	かつての大学のように、真のエリートを育てる大学が存在しなければならないということでしたが、エリートを育てるならばその教育をする人はどのような人なのでしょう。真のエリートを育てる大学がないから作らなければならないというなら、教育者はエリートの中のエリートでなければならないと思うのですが、そのようなエリートの教育者はどのように生み出すのですか。つまり、質問としては、真のエリート大学では教育者側はどのような人材を用意するのかということが聞きたいです。
回答	お言葉ですが、大学では厳選されたメンバーが教員となっています。10年、20年と真理を追求し続けることは普通の人間にはできません。「変人」と言われるこうした人種と接するのは一生のうち、大学にいる間だけです。いや、真のエリートと思える先生は見たことないって？人間にはいろいろな側面があるのです。
F	真のエリートは、文系も理系も学ぶべきだとあったが、それ以外の人はどうなのか？特に東北大のような中途半端な位置の場合、文系科目に時間を割いた場合、第一線では戦えないのではないかと？
回答	あのね、東北大を過小評価しないこと。世間で言えば超エリートで、みなさんはすごい力をもっているのですよ。
F	数多くの大学の中で、差別化した特定の「エリート大学」を置くべきという主張には疑問があります。私の母国の韓国の事例（大学進学率9割以上）から「多くの大学の中のエリート大学」という制度が、学問の発展は旦ておき、国民の幸せを深刻に侵害するというのを私ははっきり体験し、理解してきました。学生たちは小学校時代から「倒さねば倒される」という無制限競争に徹底的に犠牲にされます。社会人になってからも同じです。多数の凡才と極少数のエリート養成という政策の惨めな失敗を、私は母国の人材に対する待遇（新入社員年収平均130万円、勤労時間OECD1位、過労死1位、社会的階級化）から学習しました。国民全体の幸福を追求する国は、こういった政策を行ってはいけません。
回答	日本は島国なので平和です。ただ良い意味での競争がなければ学問は衰退します。スポーツ選手や音楽家を養成するのと同じように、学問に秀でた人材をきちんと育成することが重要です。
質問	大学の差別化については同感ですが、先生の考えられる「真のエリート」とはどのようなものなのでしょうか？
回答	「真のエリート」だと思える人と出会える可能性は「差別化された大学」により多くなるでしょう。これを見極めるのはむずかしいですが、ノーベル賞やフィールズ賞を取っている人は少なくとも「真のエリート」でしょう。
質問	大学の差別化を進めると学歴格差は広まりませんか？
回答	皆、気を使って「差別化」とはいいません。「多様化」です。「レジャークラブ」とよばれる大学もあります。でも全部そうになったら困るでしょう？
G	海外で“本当のエリート”を育成する大学があるならばどこですか？
回答	会場でフランスのエコールポリテクニクの例をお答えしました。他にもハーバードやオックスブリッジなど、育成されているのか、元からエリートが入学するからかはわかりませんが、多数あると思います。
質問	映画を見ることは、どのように教養と関わりがあるのか。文系出身者が経済などの分野以外でトップになる利点とは？
回答	最近生まれて初めてアニメ映画を見ました。「君の名は」です。一つ話題の引き出しが増える、そして引き出しをたくさん持つ、これがトップになる秘訣ではないでしょうか。

H	おすすめの本・映画を教えてください。
回答	漱石の「こころ」。久しぶりに読んで考えさせられましたね。「シンゴジラ」や「スターウォーズ」、「アバター」、こういうCG映画をこの歳で初めて見て引き出しは増えました。一番楽しめた映画「旅するジーンズ」の2編です。純粋に娯楽ですが。
コメント	「大学進学後も多くを学ぶキャパシティのない学生が増える」という現状の中で、さらに教養教育を受けさせるというのは、より教育の質を低下させてしまう危険性をはらんでいると考えます。そこはどうかしたら良いのでしょうか。学生の努力不足もあると思いますが、無理やり積み込むだけでは受動的な教育になり、簡単に解決はできないのではと思いました。
回答	人は切実なことがあれば自然と書物を開いたり、今ならネット検索で情報を探したりしますね。ただ切実でないといけません。だから大学でいろいろな機会を提供するのは。切実になったとき、学んだことがきっとヒントになります。
質問	「大学生全員に対し教養教育を行うのは難しい」という意見に賛成です。しかし、「教養教育を学べる余裕のある学生」に時間をかけてそれを教えるのは現在の社会では不可能だとも感じます。この社会においてそれが可能となるにはどのような改善が必要だと思いますか？
回答	嫌で嫌で仕方がないことも小学校なら全員課せられますね。後で考えるとありがたいこともあるわけです。だから教養教育をカリキュラムに入れてしまうのです。
コメント	大学で専門化がなされているが、高校でも文理で分かれる。教養を身につけるには高校から何かしらの改革が必要になるのではないかと思う。
回答	そのとおりです。昔は、高校で文理を分けてはいませんでした。苦手なことこそ若いうちに最低限の知識として身につけておくべきです。
質問	現在の情報化社会において、昔よりも情報があふれています。そして情報を選択していかなければなりません（例えば文理選択）。そんな中で多様性をおいかけるのは、「選択」に対して反しているのではないですか？
回答	自分の得意分野を追求することは必要ですが、それで満足してはいけません。貪欲に生きましょう
質問	社会が即戦力として役に立つ人材を欲しているというお話がありましたが、実際大学で専門的に学んだことはどれくらい社会に出てから役立つのでしょうか。医学部や法学部などの資格が必要になる分野では有用だと思いますが、文学部だとどうなのでしょう。
回答	人間関係を円滑に行う術を獲得してください。一生役に立ちます。
質問	教養とはすぐには役に立たないもの。では、いつ役に立つとお考えですか？私は、死にたくなるほど精神が追いつめられたときに自身を救ってくれるものが教養だと考えています。
回答	奥深いですね。そこまで追い詰められなくても、日常的に何か判断しなければならぬとき、教養が役に立ちます。
質問	教養を学ぶことはもちろん必要で大切なことだと思うのですが、トップへの道を目指すならば、大学の専門化は必要なことだと思います。どうすればどちらとも得ることができると思いますか。
回答	いわゆる「偉人」は人よりエネルギーのある人だと思います。人よりたくさん学び、人よりたくさん働く。自分のキャパをどんどん高める努力と忍耐が必要です。
質問	「教養」を専門教育だけでは培われない、得るべきものと定義されていると感じました。多様化する社会に対応するためには必要なことかと思いますが、「知識」と「教養」の違いとは何でしょうか？
回答	ワインの銘柄をなんだかんだ言うのは、知識。自分で味わって「おいしい」と思うものを判定できるのが教養。
コメント	学生は複数路線を目指そうということが述べられましたが、専門化が進んだ現代の学問分野において、少し難点があるのではないのでしょうか。（昔と今の学問の蓄積は全く違って、昔の学者のようにはいかないと思うのです）もちろん、そこまでの深い理解はいるとは思いませんし、あくまでたしなむ程度のことが述べられていると思います。
回答	ダビンチの時代のようにオールマイティはありえないけれど、情報が誰にでも提供される良い時代になりました。
質問	得意なことを貫くことを重視するというのは、理系分野しか学ばない理系、文系分野しか学ばない文系を増やすだけではないですか。
回答	ハンドルに「遊び」のない車は運転できません。運転できる車をつくりましょう。
コメント	私は理系で、これまで歴史や文学などの文系科目をあまり勉強してこなかったが、あらためて文系科目の必要さを感じた。いままでは受験勉強でそういった科目になかなか手を伸ばせなかったが、大学生になり時間に余裕がでてきた今、歴史などの本を読みたいと思った。
回答	歴史漫画もありますよ。私も時々みます。

質問	教養教育を見直すきっかけとして、地下鉄サリン事件が挙げられていたが、理系エリートに教養がなかったためにその事件が起きたということか？
回答	これは鋭い指摘です。教養の定義にも関わります。生い立ち、環境、社会情勢などいろいろな要因はあったでしょうが、やっぱり「新興宗教」の危うさを見分けられなかったのは「教養がなかった」と言われても仕方ないでしょう。
質問	社会のトップは文系出身の人が多いのに、その人たちは大学の文系枠を減らそうという動きに反対しなかったのか。
回答	文系の人は社会に出て働く人が圧倒的に多いと思います。早くから社会に適合してトップになるのです。大学の文系枠なんて彼らには問題ではないでしょう。
質問	生物学を学ぶことの重要性は何か。
回答	オスとメスのどっちが子育てすべきかとか、子孫を増やすにはどうしたらいいかとか、敵と共存するにはどうしたらいいかとか、それから DNA 組み替えには「組紐理論」という数学が関わっていたりとか、おもしろいですよ。
質問	人間としての能力という点で、女性の総合的能力と男性の総合的能力は数量的に比較できるのでしょうか。(総合的：身体能力・頭脳・思いやり等全てを吟味して。)
回答	性差はあるが、能力差はない、私はこう考えています。赤ちゃんを産み育てることから他者への思いやりは女性に多いかも。
U	多様性の推奨とのことで女性の理系を増やそうとの記述があったのですが、何を勉強するのも自由な社会の今、理系の女性が少ないのは本人たちの意思の問題であり、社会として推し進めるものではないと思います。
回答	これも会場でお答えしました。社会として推し進めるものではない、という以前に社会が阻害するものではない、といたい気持ちがあります。私は理系の大学で助手（今は助教という）を18年やりました。「出て行け」とか「子供を3人も産んだら科学者としてはお終いだ」とか言われ続けました。今こんなことを言ったらセクハラ、アカハラ、パワハラです。いい時代になりました。
質問	リケジョを増やそう、というお話がありましたが、最近になって女性への偏見等は減ってきたように思います。どうしたら数多くの女性が立場を確立できるようになると考えられますか。
回答	数として30%を獲得すると、意見が通るようになるというデータがあります（ロザベス・モス・カンター ハーバード大教授）。日本はまだそこまで行ってませんが、そろそろだと思えますよ。
質問	先生は女性がより理系に進むためにはどういった事が必要だとお考えですか？
回答	少なくとも親が足を引っ張らないこと。自由にさせること。
質問	サークルには多くの種類がありますが、中には有益、無益なものはあると思いますか。あるとすれば、どのようなものがそれらにあたると考えますか。
回答	KOのミスコン、最低ですね。
講義内容以外について	
コメント	今の時代は、女性のほうがいろいろな面で強いと思います…。
回答	その通り。ただそれでスポイルされている面もある。ホイホイされていい気持ちになってはいけません。
質問	現在も女性で数学科に進む人は少ないですが、それと同様に、何故理系の方が女性の割合が低く、文系の方が高いのか。これも理系＝実学、文系＝虚学という観念と何か関係があるのか。
回答	例えば小説を読むのと、数学のバズルを解くのと、どっちが楽しいか。私は数学者ですが、小説の方が楽しいです。でも小説はひとりで読めるけれど、数学は大学で学ばなければできませんでした。この辺に鍵がありませんか？